

## 治山事業

### 人が導く

### 強い山



令和6年度 山地災害防止標語コンクール 最優秀賞

治山ボランティアセンター  
**治山ボランティア通信**

事務局：新潟市中央区竜が島1丁目7番13号  
新潟県木材会館3階  
Tel.025(245)4700 FAX025(248)6464

## 自然災害の発生に備えて

今年も猛暑に襲われ、高温の観測記録が次々と更新されています。気象庁は、日本の今夏の平均気温が平年を2.36度も上回り、1898年の統計開始以来最も高かったと発表しています。現在は、「地球温暖化」ではなく「地球沸騰化」と表現する人もいる状況です。当センターの海岸林整備活動も、夏期は過酷な環境下の作業となっており、危険な暑さを身に染みて感じています。

その一方、全国各地で、また新潟県内でも局地的な激しい豪雨が頻発しています。「線状降水帯」という気象用語を連日のように耳にする状況です。災害復旧事業における災害の定義である「時間雨量20mm以上」「日雨量80mm以上」の基準が色あせてみえる状況であり、年々豪雨災害の発生リスクが高まっているように思います。治山担当職員には、気の休まる時がない状況と推察します。

新潟県は、地震、豪雨、豪雪等様々な災害を経験してきましたが、その度に治山関係者は困難を乗り越え、復旧対策に取り組んできました。

今後も自然災害の発生が予想される中、私たち治山ボランティアセンターとしては、引き続きこれまでの経験を結集して、災害対応のお手伝いをしていきたいと思っていますので、会員の皆様のご理解ご協力をお願いします。また、県の治山担当職員の皆様、賛助会員の皆様には、引き続きご指導ご支援をお願いします。

新潟県治山ボランティアセンター会長 伊藤 健一

### 会員の活動

#### (1)「大規模災害対応総合演習」

(県治山課主催)

5月23日(金)に津川地域振興局で開催された「大規模災害対応総合演習」に、当センターから7名が参加し、山地災害危険地区や治山施設点検の研修を行いました。



大規模災害対応総合演習



#### (2) 令和7年美しい森づくりアシスト事業

(当センター主催)

新潟市西区上新栄町において、海岸保安林の保育活動(刈払い、枝落とし、クズの枯殺等)を行いました。

期間：5月28日～10月1日

(全5回)

参加者：延べ52人



海岸保安林の保全・整備活動に取り組みました

### (3)「治山技術研修」(県治山課主催)

10月27日(月)～28(火)に長岡地域振興局管内で「治山技術研修会」が開催されました。当センターから4名が参加し、研修生に治山事業の計画立案について助言やサポートを行いました。



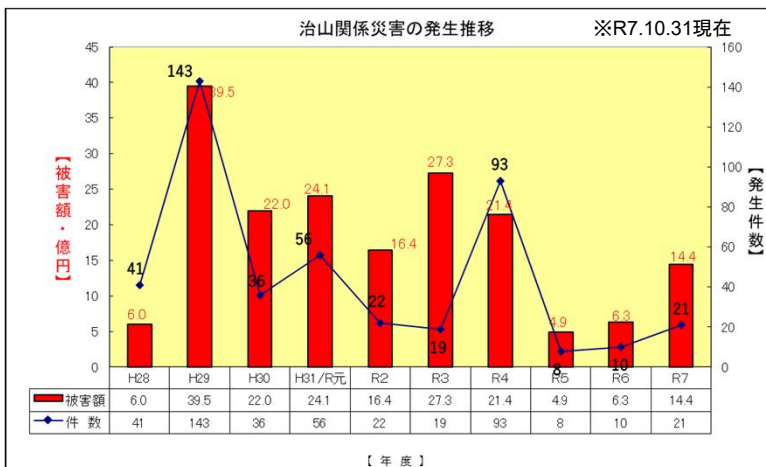
### 最近の山地災害の発生状況

右のグラフは、平成27年から令和7年10月までの山地災害の発生状況です。10月末時点で、21件、被害額は14億4千万円となっています。

災害の内訳は、なだれ災害、冬季の風雪による施設災害、地すべりによる施設災害、豪雨災害などです。

特に、8月の豪雨では、佐渡市と村上市で9か所の災害が発生しました。

これらの被害箇所は、災害関連緊急治山事業や施設災害復旧事業、土砂災害緊急治山事業などにより、復旧を図る計画です。



### 山腹崩壊(佐渡市沢崎・8月豪雨災)



### 山腹崩壊(阿賀町日出谷・6月梅雨災)



### 法枠工の被災(佐渡市金井新保・融雪災)



### 県からのお願い

日頃より、治山課の取り組みに多大なご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。治山課では、災害時の対応力向上や若手職員の技術習得を目的に、毎年「大規模災害対応総合演習」や「治山技術研修」を実施しており、多くの会員の皆様にご参加いただいております。今後も、災害時の迅速な連携や現場での情報共有のため、引き続きご参加・ご協力をお願いいたします。